



内子座 藝於遊



補足木材取付

令和8年6月19日、補足木材の取付作業を見せていただきました。内子座の構造補強のため、必要な部分に新たに木材を取り付けたり、木部の丸み部分を補足したりなど、施工内容は様々ですが、いずれも元の木材を傷つけないよう工夫を凝らしながら作業が進められていきました。

右の写真は、事務室押入れの土台となる部分です。現代のような角材の土台ではないため、構造補強材を受ける部分を付け加える作業が行われました。光付け（ひかりつけ）といわれる伝統的な大工技術で、右上は作業途中の様子で、右下が完成した写真です。狭く安定しない場所での作業でしたが、微妙な角度で木材を隙間なく加工するプロの技が光を放ちました。



補足木材取付の様子
(6月19日撮影)



◀左：加工前の木材。◀右：元々の木部の角度を写し取りながら削っていきます。



第2回内子座見学会

5月30日と6月6日の2日間、計8回の見学会を開催しました。今回の見学会では、解体が完了しおよそ骨組みとなった内子座屋根を見学いただくとともに、二重折り上げ格天井を間近に見たり、トラス工法がよくわかる屋根裏を見たりと、内子座を

よく知る者にとっても見ごたえのある内容でした。

次回をお楽しみに！



保存修理工事写真展

今回の内子座楽屋での企画展は、まさに今しかみることのできない一瞬の内子座をとらえた写真の数々を展示しています。プロのカメラマンによる迫力ある写真をお楽しみください！

